

被災地での「足湯」を学ぶ — ボランティアセンター機能強化課題別研究会 —



【神戸大学の荒木さんと小島さん】

被災地での足湯とは異なり、避難所や仮設住宅などで、お湯を張ったタイヤの中に被災者に足を入れてもらい、ボランティアが被災者と会話しながら、10分間程度マッサージのように被災者の手や腕をさすります。スキンシップでお互いに親近感が生まれ、被災者は、なかなか口に出せなかった心配ごとや悩みごとをつぶやきます。これを記録用紙に書きとめて避難所等の管理者等に報告し、その後の支援に結びつけて行くというのがこの活動の目的でもあります。まさに「傾聴」を目的としたツールと言えます。



【阿蘇市で開催した研究会の様子】

7月31日(日)、阿蘇市阿蘇保健福祉センターで『「市町村災害ボランティアセンターの設置訓練」と「神戸から学ぶ被災地での“足湯”』をテーマに、「ボランティアセンター機能強化課題別研究会」を開催し、市町村社協職員など約40名が参加しました。

午前中は、神戸大学の学生震災救援隊の小島義広さんと荒木 緑さんに「足湯」についての講義と、参加者全員による足湯の実践演習を行っていただきました。

被災地で行われる足湯は、温泉地での足湯とは異なり、避難所や仮設住宅などで、お湯を張ったタイヤの中に被災者に足を入れてもらい、ボランティアが被災者と会話しながら、10分間程度マッサージのように被災者の手や腕をさすります。スキンシップでお互いに親近感が生まれ、被災者は、なかなか口に出せなかった心配ごとや悩みごとをつぶやきます。これを記録用紙に書きとめて避難所等の管理者等に報告し、その後の支援に結びつけて行くというのがこの活動の目的でもあります。まさに「傾聴」を目的としたツールと言えます。

午後は、阿蘇市社協の坂本吉史専任職員から「阿蘇市では、社協の介護事業の職員も全員参加して毎年災害ボランティアセンター設置訓練を実施していて、阿蘇ブロックの社協にも参加を呼びかけています。」との報告がありました。また、菊池市社協の日置治尊主事からは、「菊池市災害ボランティアセンター設置訓練では、事務所の1階と2階を使用したため、ボランティア同士が階段ですれ違い、ぶつかってしまう恐れがあるなど、動線に問題があることが確認できました。」との報告もありました。

平成23年度 社会福祉法人労務研修会を開催しました

7月29日(金)、メルパルク熊本で「平成23年度社会福祉法人労務研修会」を開催し、約200名が参加しました。

本研修会では、特別養護老人ホームこもれびの・橋田明成統括部長より「キャリアパス導入後の職員のモチベーションについて」と題し、人事考課制度の導入についての事例発表がありました。参加者からは、人事評価制度の導入を考えているので参考になったとの意見がありました。

次に、県社協の社会福祉法人経営相談事業専門相談員である社会保険労務士の上田吉勝氏から「就業規則の重要性(労働契約法)について」と題して、講義が行われました。労働契約法にもとづく労働契約の基本的なルールの説明とともに、使用者の安全配慮義務や雇用と解雇の扱いなどについても、判例などを紹介しての詳しい指導がありました。



【研修会の様子】

社会福祉振興基金助成先決定～地域福祉活動計画策定推進事業～

各市町村社協が中心となり、住民主体の地域福祉の実現に向けて地域福祉活動計画の策定を推進し取り組みが進められています。平成23年8月現在では、33市町村社協において計画が策定されています。

本会では、市町村社協での地域福祉活動計画の策定を促進するため、新たに計画策定に着手する市町村社協に対して、社会福祉振興基金による「地域福祉活動計画策定推進事業」として、策定に係わる経費の一部を助成しています。本年度は、次の2社協に対し、助成することとしました。

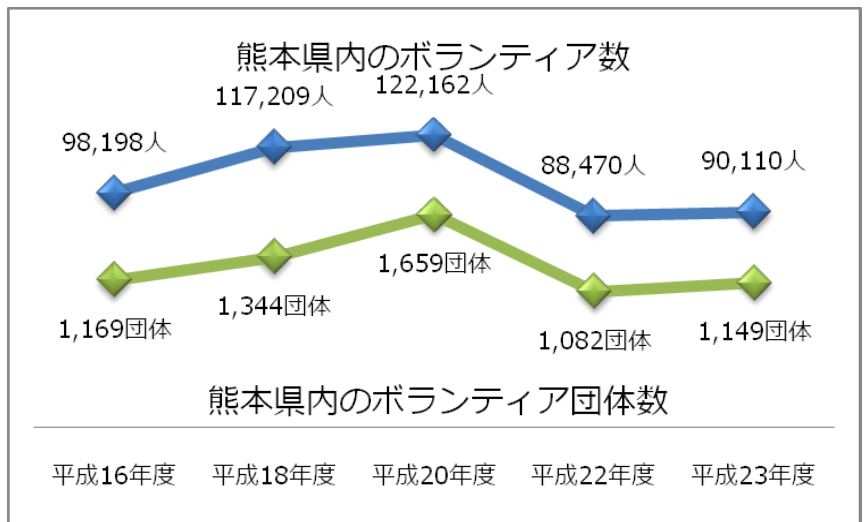
助成先：嘉島町社協・南小国町社協

熊本県のボランティア数が1年ぶりに増加 — ボランティア実態調査結果 —

本年4月1日現在での県内の個人ボランティア数、ボランティア団体数及びその構成員数が、各市町村社協の協力を得て実施した「ボランティア実態調査」でまとめられました。

個人ボランティアは7,533人、ボランティア団体数は1,149団体、同構成員数は82,577人となっています。このことから、県内のボランティア数は90,110人となり、県人口1,810,826人に占める割合は4.98%となっています。

平成20年度まで上昇していたボランティアの数は、昨年度減少しましたが、本年度は再度上昇に転じ0.09ポイント1,640人増となりました。



第54回熊本県児童福祉施設合同キャンプを開催しました

第54回熊本県児童福祉施設合同キャンプが、7月25日(月)から28日(木)までの3泊4日の日程で、南阿蘇村「久木野村教育キャンプ場」において開催されました。

県内の児童養護施設から、小学5年生から高校生までの児童と職員を含む総勢152名が参加し、計画されたプログラムのもと、楽しく規律ある共同生活を送りました。

このキャンプは「美しい自然の懐にいだかれて、計画と指導のもとに自由な楽しい、しかも規律ある共同生活を営み、児童相互の協力と自主的活動を通じて情操を豊かにし、創造力の滋養並びに体力の向上を図る」ことを目的としており、今年で54回目になります。

山の天気は変わりやすく、今年は夕立に見舞われましたが、最大の楽しみである3日目のキャンプファイヤーも盛大に行うことができ、4日間の日程を無事終了しました。



【合同キャンプ集合写真】

ねんりんピック2011熊本が開催されます

10月15日(土)～18日(火)までの4日間、『火の国に 燃えろ!ねんりん 夢・未来』をテーマに、第24回全国健康福祉祭くまもと大会(ねんりんピック2011「ふれ愛」熊本)が開催されます。ねんりんピックは、60歳以上の方を中心として、あらゆる世代の人たちが交流を深めることができる総合的な祭典です。

大会は、県内9市4町で、卓球、テニス、囲碁など22種目の交流大会が行われるほか、美術展や音楽文化祭、健康福祉機器展など、健康づくりに役立ち、みんなで楽しめるイベントが予定されています。お問い合わせは、実行委員会事務局までお願いします。


(Tel 096-333-2011)



【ASO坊健太くん】

各課トピックス

* お問合せは、県社協各課まで

| 総務課 | 県民福祉課 |
|---|--|
| TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440 | TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440 |
| <p>◆ホームページのバナー広告募集について◆ 本会ホームページでは、バナー広告を募集しています。皆様のお申込みをお待ちしています。 広告の位置 本会ホームページの下部 広告の枠数 最大8枠 広告の規格 大きさ 縦50ピクセル×横146ピクセル 形式 GIF・JPEG、5KB以下 広告掲載料 1ヵ月あたり10,000円 詳細やお申込みについては、本会ホームページまたは総務課までお問い合わせください。</p> | <p>◆社協活動支援・相談室(専門相談)のご案内◆ 本会では、市町村社協活動支援の強化を図ることを目的に、専門家による各相談室を開設していますので、ご利用ください。 【専門相談日】 ①社会保険労務士：毎月第1月曜日14：00～ ②公認会計士：毎月第2火曜日14：00～ ③弁護士：毎月第3火曜日14：00～ 事前に予約が必要ですので、電話やFAX、電子メールでご連絡ください。 (都合により相談日を変更する場合があります)</p> |
| 施設福祉課 | 民生課 |
| TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440 | TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440 |
| <p>◆福祉・介護施設等アドバイザー派遣事業◆ 弁護士・公認会計士・社会保険労務士・中小企業診断士をアドバイザーとして事業所に派遣し、要望に応じた専門的な指導・助言を行います。 (相談内容) ・施設利用者や地域などとのトラブル ・会計処理について ・就業規則・給与の見直しやキャリアパスについて ※秘密は厳守、ご利用は無料、事前の予約が必要です。</p> | <p>◆生活復興支援資金のご案内◆ 東日本大震災により被災した低所得者世帯に対し、「生活復興支援資金」の貸付を実施することになりました。これは、当面の生活に必要となる経費等、生活の復興を支援するため、生活福祉資金の福祉費の特例として貸付けを行うもので、被災したことにより低所得世帯となった場合も含まれます。 借入れを希望される場合は、現在居住されている市町村(避難先)の社会福祉協議会にご相談ください。</p> |
| 福祉人材・研修センター | 地域福祉権利擁護センター |
| TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464 | TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440 |
| <p>◆介護支援専門員実務研修受講試験の実施について◆ 標記試験案内の配布及び周知につきましては、ご協力いただきありがとうございました。 受験申込みを7月1日(金)から20日(水)まで受付けたところ、3,036人から申込みがあり、前年度より154人増となりました。 試験日は10月23日(日)、会場は熊本学園大学を予定しており、受験者には10月上旬ごろ受験票を発送します。</p> | <p>◆利用状況のお知らせ◆ 地域福祉権利擁護事業の7月末現在の利用者は、654名です。内訳は、認知症高齢者の方が350名(53%)、知的障がい者の方が116名(18%)、精神障がい者の方が136名(21%)、その他の方が52名(8%)となっています。 また、現在県内45市町村中、44市町村で本事業を利用されています。今後も、引き続き県内どこの地域でも、必要な人がサービスを利用できるように、積極的に推進していきます。</p> |
| ボランティアセンター | 福祉サービス評価センター |
| TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427 | TEL 096-324-5473 / FAX 096-324-5456 |
| <p>◆美里町災害ボランティアセンター設置訓練のお知らせ◆ 美里町を想定被災地として実施される平成23年度県総合防災訓練では、美里町社協が宇土市・宇城市社協と協働して災害ボランティアセンター設置訓練を行います。 日時 9月4日(日) 9:40～11:35 場所 美里町緑川ダム中の島公園 参加団体 美里町社協、宇土市社協、宇城市社協、熊本大学学生防災ボランティア団体熊助組、宇城管内市町ボランティア連絡協議会ほか</p> | <p>◆介護サービス情報の調査結果を公表します◆ 平成23年度の介護サービス情報の公表制度の調査が、8月から指定調査機関において実施されています。調査員が各事業所を訪問して確認した介護サービスの内容や運営状況等の情報は、「熊本県指定情報公表センター」のホームページに公表してまいります。 本年度は、現在公表されている平成22年度の調査結果を、9月末から随時更新して掲載しますので、ぜひご覧ください。</p> |
| | <p>熊本県公表センター <input type="text"/> 検索 </p> |